

集会案内

日曜日

礼拝 1:45pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話(714)234-4778

Eメール: sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「忘れない」

詩篇七八篇には、「神がなされた事と、彼らに示されたたくすしきみわざとを忘れた」(11節)とあり、モーセの時代、エジプトの地でイスラエルの民が奴隷であった地から、安住の地であり、約束の地であるカナンに至るまでの行程が記されている。民は絶えず神に助けられてきたにもかかわらず、そむいて来た。この詩篇には、何度も怒りという言葉が出てくるのはそのためである。

出エジプトの際、神は民を救うために、紅海の海を真つ二つに分け、その中を通らせたのだが、それは神の全能を示すためであった。そのような体験したなら、以後どんな試練があっても、信仰を持って突き進めるはずであったが、実はそうではなかった。炎天下の砂漠を歩くのだから、すぐにも手持ちの水がなくなってしまう、喉の渇きを訴えた。そこで紅海を渡って三日目に民は神に文句を言った。このことから、人はどんなに素晴らしい神体験をしても、それはたつた三日しか持たないことを知る。「三日坊主」ならぬ「三日信仰」だ。

さて、もう一つの神にそむいた例を紹介しよう。エデンの園での出来事だ。アダムとエバは神と共に何不自由なく生きていたが、ただ一つ、園の中央にある木の実は食べてはいけないという命令があった。だが、彼らは悪魔を装う蛇にそのかさされ、しかも、その実の美味しさと、見た目に負けてしまい、つい食べてしまったのである。人の欲は神の命令よりも強いからである。それが罪であり、以来、私たちもその罪を今に至るも引きずっている。その証拠に、今もなお私たちに、罪一つにさえ打ち勝てないという現実があるではないか。

とかく私たちは、神が自分の上になされた素晴らしいみ業を忘れるのみか、逆に文句を言いやすい。それが罪であり、人はそれに支配され続けている。いったい灼熱の砂漠の中を通る時に、誰が「水をくれ！」と叫ばずにおれよう。目の前に大きな誘惑が立ちはだかる時、いったい誰がそれに打ち勝てよう。だからパウロは言った。「ダビデの子孫として生れ、死人のうちからよみがえったイエス・キリストを、いつも思っていないさい。これがわたしの福音である」(2テモテ一・8)。つまり主イエスの十字架と復活のみ業を忘れるな、というのである。それが罪に勝つ唯一の方法だからである。それが信仰生活の秘訣である。

【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榊原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。